



2021年6月2日

会社名 株式会社 滋賀銀行
 代表者名 取締役頭取 高橋 祥二郎
 (コード番号 8366 東証第1部)
 問合せ先 執行役員総合企画部長 肥田 明久
 (TEL. 077-521-2200)

「第7次中期経営計画」挑戦指標修正について

当行は、2019年4月よりスタートしました第7次中期経営計画（期間5年間：2019年4月～2024年3月）の挑戦指標について、下記の通り上方修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 修正の理由

当行は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を機に、サステナビリティを希求する社会的要請が高まったことをうけ、昨年9月に「サステナビリティとデジタルへの取組強化」を公表しました。

今後、さらに「サステナビリティ」と「デジタル」を軸にした取り組みを進めていくにあたり、第7次中期経営計画期間中の挑戦指標のSD (Sustainable Development) 目標および2030年のマイルストーン（指標）について上方修正いたしました。

2. 第7次中期経営計画期間中の挑戦指標の目標修正値

<SD (Sustainable Development) 目標>	2024年3月末 当初計画値	2021年3月 実績	2024年3月末 修正計画値
①Sustainable Development推進投融资 (格付CS先への新規融資額、SDGs型商品新規投融资額、ESG新規投資額5年累計)	5,000億円	3,373億円	7,000億円
②地域顧客の価値向上サポート (年間コンサルティング相談件数)	1,000件	1,275件	2,000件
③地域顧客の資産形成サポート (預り資産残高「投資信託＋金融商品仲介」)	3,000億円	1,907億円	3,000億円
④温室効果ガス排出量削減 (2013年度比較の削減率)	25%削減	42.07%削減	50%削減
⑤SDGs・金融リテラシーの普及・向上活動、次世代人材の育成活動 (研修等の実施人数5年累計)	5,000人	8,338人	15,000人
<収益目標>			
①親会社株主に帰属する当期純利益（連結）	100億円以上	114億円	100億円以上
②顧客向けサービス業務利益（単体） (貸出残高×預貸金利回り差＋役務取引等利益－営業経費)	30億円	29億円	30億円

<長期的挑戦指標>	長期的指標	2021年3月 実績	修正計画値
ROE（連結）	5%以上	2.62%	5%以上
OHR（単体）	65%未満	75.40%	65%未満

3. 2030年のマイルストーン（指標）（ターゲット2030）修正値

	当初目標	修正目標
地域経済の創造	Sustainable Development 推進投融资 新規投融资額 累計1兆円	Sustainable Development 推進投融资 新規投融资額 累計1兆円
地球環境の持続性	温室効果ガス排出量 30%以上削減（2013年度比較）	温室効果ガス排出量 2030年に75%以上削減 （2013年度比較） 2050年までに “しがCO2ネットゼロ”（注）を達成
多様な人材の育成	SDGs・金融リテラシーの 普及・向上活動、 次世代人材の育成活動 実施人数延べ1万人	SDGs・金融リテラシーの 普及・向上活動、 次世代人材の育成活動 実施人数延べ3万人

（注）2050年までに滋賀県における二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする取り組み。滋賀県が主体となり、県民、事業者等多様な主体と連携して取り組む「“しがCO2ネットゼロ”ムーブメント」に取り組んでいます。

以 上